	9		•			4			六			Ħ		,	1		第				2.7	J. 5-4	re-	C '	X -	. 3	報						alt	<u>9</u> .		作	H -	- 6)	į	n		<u>o</u>	三	<u>=</u> =	Ħ	八	+	• F	3 -		年	二十	市	大						東 三	<u> </u>				<u>_)</u>		=
世上の一大学の一大学の一大学の一大学の一大学の一大学の一大学の一大学の一大学の一大学	即号制限立外引小航空機の建造及約4次立重要を者そのリロ時が海	大師著む差小有む故呈海軍制限條大砲七米関呈中大市立順数の比率	サエ多大も海軍力を興かの日英司	刺根條的や英國及日本可对米國皇者を管理可以演談の可華盛藝液算	(経育十五日發電) 『八子스』提	米提督演說	沿耳化米部部	一時更条的平命	公部の提出を行ってかぐらい	余七日本人の跡作人の 耕地所有又	(辛叶叶十五日發電) 米納上院議員の1年以三氏七言明本	日ノ栽り	日し井乍禁	라 :	『早午刊 △三』○在を聯合國軍事では附近。多月できまり。	気付立り長り いきりり 優者裏馬尼亞領人	一(巴里十五日發電)巴里駐剳婁馬尼亞公使七佛國首相『至今八四	匈牙利	ラノイル当	姜公吏對弗通与	新果無事のタワリ 引	揚う。上獨逸警察を佛白兩國人の	舉皆佛國の『テーの』地方占領の反對望氣勢号	於 卫 又社會黨員及民主黨員至6 2 中 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本	隷豆使用豆み的の對かり	の銃剣의力を借から平和	モ中流階級:代表者外五十萬人を認	《柏林十六日發電》 獨邀帝國籍會	(1)により もの しゅう	弗 以 患	邓 边域		प्रमे अ व	さ中止かり三次も結果獨逸の月佛殿の必要も 石炭組で徴發すります(巴里丁王上を見) 伊爾官和 ろこう でしょしき 雅送・石基・弓が	(巴世) 医丁克二人	佛國需要石	1997年1997的新兴中可引	・一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一	(伯林十五日發電) 佛師兵斗『斗	例。三、甲島	的 引 足引	受主張みな又『シエ一首相の辞職を要求からひ丁旦」	は天山東籍り変度が幸祉の子の山の生命の「日本	5、三月七月旬十十万元。(信林十五日登记) 存置 4、一	が おまられる おまられる みんこう おおり おおり おいり かんしょう かんしょ かんしょう かんしょう かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ	蜀兔民期	五五五		I	次 长	政子干活的中種々日不法行為小一	一中此新伯兩派の競手や更可軍の人で	置きをよぶらしきかりようとことを此の悲囚計のは孫、吳廟人の人の人	黑龍의吳、兩督軍司從官說可有日	生が外互相排斥が五最近吉林ヨーで教えり外互用人間・素色の限が一つ	はとして、『『八月十年年月時で なお果兵制を改革から精兵主義』	《奉大政山 張作霖氏小昨年可以 次	新舊派競爭 1	の送司南下 かみ立治語の父の引	(上海電) 廣東司公民團の孫文氏等に見り グラー 屋 子 チー	質見公民國、系毛柯下要於	次逮捕收益が少斗引斗 方面甲反對小佐哲・三新司法總長・2	北京 - 六日發尼) 羅文幹氏의不起	系ろ草甲ツ	く全事と		中國
・受用三手末急ぎ・引き・引き・同様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(食社段立当野お手十五日株主)(東京電) 日中合并山東鎌山	日中合辦	廣山會社設立	라	的の有む意を公式・三陵表する	(倫勢十五十多治) 英城第二章	ラー島一女糸			州	야		会上を		安良の川 質狀調査を依頼するする	まらりをナトリー しゃ化しりに立たの 侵入も何が利軍隊も今の時	馬尼亞公使七佛國首相『王も小	軍隊國境集中	作到上	弗通与		37居住地音保護すり爲すい盡力な	万占領에 反對望氣勢号	日林其他各都市×會合号開催制品 日本4444444444	℉抗議의決議量通過す	和是破計五獨逸人是奴	地町五旗場一 野豆 伊国	1年のは大台書別作を印を作むさ	はは、自己では、)	(可必要も 石炭組が徴發すり足す)	上, 名	炭敦發	17 存息がで記りでは 21で ・ 二二	14年の元を援かりの高かトト三い中外『日本の日の一人の新局目的	ムットの一人を「小町で」市の中小	開好	うりムゴ	四辞職上要求から引	で非規列對計作開戦が、民間記述	即寺沈紫号中上計立	上五日 生去 電 占領計	戦主 振	上台		1	11		八年十四日中で長春を撤退す父子の一二十二年世界が出る生命財政。危険で一	□ 防暴止攻立上市才養司 宣食司 □	本人四十名斗警察隊七馬城者計八	(奉天十五日發電) 伊通縣在住三月期三十八十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	照討伐 家 黄 暴	いい は の の の の の の の の の の の の の の の の の の	有非故是脸、暖、玉、英、胡斗如甘中		す維持하りつ		近れツいがり 三部市法職長を議氏を お客がなり十五日夜『真』相	新放釋七物鑑子惹起が立調合 エ	ラジ打	赴前	,	局
17 全水産学为当份がそ仲属が立ち的、水産合の仲裁控験の中立と調整を設めための中へを負金を取りるという。 イット・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	水産合めを任意機関の見ずの委員の設置を表現しています。	コ機関職務の執行を監視する其過に臨り引き点水産貿を監視する其の	グの4役員中評議員で自長の諮問	「いい水産台一切の事務を管理がそれる。 おおおける	竹骨又七総合の諸員を指見事項の	日 村其職員中二三十日選仕日工總	「疑問や即役員の と總代官又と總官	規則中の相當可規定習可の斗執行	のみ 此等の事項の 對から七施行	聖事即復選式平方法の依하川是以	日任命む選擧人の豆むいる選舉州	採用する實情の不適なの豆道知事	日本平如司直司普通司選擧方法を一柱巴工任然村送りる第二	三年度を自然日本日と助の行むの見ると民度及情省の村気の立文化の	当通の選舉方法の依かダスルを朝	総代의選任の對かい七十本の付七	総合の は選仕を及り二種のもれる	意生主命を表針と以外恐代官又と可となり可然の特別語言のメモニ	ト:11十二方字川表は11mmでは次経投等の関む一切の事項を試次	1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 100	一方法の依か・選仟日議員及特別	四門外然而總代會又一總行七選舉	のでき、眼睛火を含み生みずものできる。そ	将言執行させいの機関の可水道の	明の오執行機関のみなる法人の亦	~ 七其法人の意思を内定の七中の機	四區別のモスの中意思機関の中部	↑機關を普通 京思で関斗執行機四一・注)でおりておりて	当去人 中月晨 赴 中小 無 立 不 斗法人	水産行そ法人の故己其活動をあり	(五)水產會의機關	西村	寸 ~	火產室合品	6	中道印事中中左記訓令を發すます、一朝鮮總督府の はそ一月十八十队之の	道知事の對うの	總督府訓令		り増加するよう	<學者が似少性・職工希望の願著します。中高等心學を第七十月等校の一	1474742巻三さてなど明査が4番常卒業を昨年度4	火町日本年度卒業兒童当進學狀態	٦ ١	•	以於見子が改造を望りなりずり	/\	所飞	代類下さい丘―午前た寺井引架川 ・ (東京電) 日本政府当第五四白 ・	1111	政府が米放賣	なす。 ない多可い三年比例の日の日。		百株を發行(五十圓拂込) おユガー	千四百十萬圓新株二十四萬七千 財		日本化學肥料可三社七十五日 唐		巴科拿出合司	海政で計を中川中	行前习篇中非休行翌日職會可母	も後上奏問題を関せ最終の決定 辿り丁名が臣(大才鏡科修品)。 丑 施	以下不过,以下或其类的心思,可以不可能和官局。可以自己,可以是一种,可以是一种,可以是一种,可以是一种,可以是一种,可以是一种,可以是一种,可以是一种,可以是一种,可以是一种,可以是一种,可以是一种,可以	総職定例閣 戦モナ六川午後二時 後	(東京電) 日本施政方針演成草(明	定例內閣會議	三川川川下後 連
日の扇孔引 現西七月前七七十受路へ水産台小経費及過忘金3徴収せ好する水産台小経費及過忘金3徴収せ好ける。	□川耳で同時:其徴收き府面の場話へ可非総貨を徴収すや機能→認定す	『可七慮가有並故至水産的の村自進行事業の主義の	安か可結局経費徴收を爲いの経費	質際上至難可ユ且多額の徴收費を	行自身の此等の各員の整可の級数		数や沿岸一帶る點在市立島嶼其他	一日七其風城の底潤が正且自員の多	一七租稅公課斗同樣可引然的道水產	初中の最大重要も事項二旦其實質	付日義務七個員の水産行の對を数	務外有首章定的州祖及可引行設制	松牧の分賦を受可立此を約付き我	立其中面州生 中自負用と省と其の総とも分別する。 東京村首は阿具は	川が投手が武士と上雅七十十八日	数三 州支辦計者本體呈 · 以 · 當然	にの故三其所要の経費七會員の會	科(四)財產收入(五)補助金(六)率	源*(一)會費(二)手數料(三)使用	安かや事み然而水産自の経費の財	ゆの2又監督官廳3充分む考慮を	以事者の最前に重む感感を変かっ 素雑さひまそう。こ次を、カカラ	少要す及外ニュリ4年11年大量了一台七水産自日活動及成績で直接日	が運行上重要も地位長占 い立其適	短斗同可此 A 經 以 例 關 中 事 務 七 曾	呈前七分見故呈國又七地万公共團	他諸般斗經營すむを主見も目的の	業の政良の達可必要も指導版動其の政策の方法がある。	水産的モ公法人の見自進みは水を	(六)火を育り歴史	成決定がら限治を行びはいい	则是一个是不是一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个		反作の的的 から三一	7 7 7	小無か도号の기号期を入りていたが改めて無言を選びる。記録	施業計畫す	後可呼民福士進却七所以引道斗地 1	受賞を学むり斗将水池方材原を函すい管林の縦を方ちゃなったり	1で、日本の一大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・	4月積野七谷易可及除り難む及の	逐分하呼 不振하四山野川 荒殿永山日子不拘可立役水山口助程。村子	朝野小共司返大を留意を要する中	の重大も関係者有可立此当經營を	世新史事の 黒牛 引見りり飲利民福州林野の経営を観土の保安、治水	い造林を行州の正不かと中の引出い	外を譲興が正道地方設立が中子比組を近。野で、一才村里でありませ	6道の対外に関有水野一覧町歩7つ17増加を緩れな必要を認可立並の171	・他川の須安の備可正地方に資務す	いのむ他の有智二星州今川の在市路	- 計으로也が恩隆の舌動の充分対 4-1に刀の非洲の・資権の容易対象抗	致替を必然も勢で日今日の現状面	W 巻き繁倒を加か五杯費の膨脹 W	運可進展 伴하呼地方調體 施 数 大型に、	(重り4) 上川上川十八十十元寺 Kを平近成を奨励する将来の需要の	業也債の能力を認む立或を基本異	X腹町正成を地方制変を攻正さらら、	八九有也以中見以上終者可或七段假	直接地方財政当売賞き企圖を必故	· · 公共日春聚司經營 8 堪州智二 日	獎科五產業者與书司民力者新發 勿	方元共司の異路で突むユニ政府 と脱紙管で要りと変用も主生社会 エ	柳香で使せなる順多の立然而其 金	■教育產業交通社會學業 等其施金	鮮で開設のいる充分対表の五今日で発生を見り出る。	於当何客水成中別外也可味時的 本方/物便当前散想看 * 强强 * 电对 * 1	デリセコ 医炎医療 4 長色を地が 年
対する事のは、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、	府台。三州左斗如司败正司《初手加	· 對峙實際令施行規則中一月八日別。 30 正 公 有	銀業子行为具	烂 ケ 施 見	本令や發布の日早の此を施行す	附則	7 10 10 10	甲有砂時を	足り行む時	中部の代文調査問言ろうの大事が	又と鉴定事	ロの認識が	L 이 IIII	や申請人や	함		¥ } =	弘派遣技術官의旅設者資務州計	新中音朝野恩督府派登規程可依 第四章 第五章 2000年,	州定世戦用の外に用る中請人の資	,其他事務遂行。	機械費、通信運搬費、通辯費、人	6]	化镀 彩棉老鸟 承記 法是	の 跨引七時七前條当中	他人の鑑定の時又を	調査設計及や鑑定さず	1	の可立直が朝鮮總督府籔務課の提っりのできる。	* 期 	二、調査設計又で鑑定の箇所		一、申請人의氏名又モ名稱及住所、名談田等の可等	調人の此が	第二條技術 自派遣の申請のモ左の た	; ;	在り見		做	・ 親心 歪	見をよって	規定	<u>き</u> 貝	Ü	廣業支術言	↑そ會則を其事項令規定を及る中	ですとなりい過忘金可俊牧の関す」	静物の野部中州信念+敦仪なる	・・・・施行規則中の相當可規定が	※を免除を以り中是等の點の間で	水産質を其金額で對하り納入むし	「可復収む金員・三天災其他不可」	付えかのかでかられたのみ的所は	牧む危観の百分の五番其府面の 在 幸賀機のものより、本力を含むた。	中旬斯市府面の對市・重大を置っ で	な二三特別も規定を設すれるの!	無料十尉罪を化斗を見事情を用して敬いる任の数がの 見を大き支障	人不對百年水產行外自進却非經外	是其地域三次少可五合員月七名 s.オガ西台=単位されば7月1日 中	は大きないとと、Bickをすり 題が回す場託なる可能で及り中華	論せば父其徴敗の全部者皆初子形	水産作用身の強化を以り、手配のは、	観せて對かい其次敗を市町村の	七水流館の日此後收る計画港納	日本法で七水遊台コ経費及過念	4水産食法中駆合外担発せ中で	上月腹の小月日以叶叶比斯七日 本
以二學一、〇九三以、三等二川七八六以、中合格數支末二、三大一以「白米一、二八四、白米一、二十四、白米一、二四) 見第三十二二	· 八、四等三五、二二三八、南大四一叭、大豆二等一叭、三等六八六	九五五叺、一等一六七、一四九叺	等二二〇队四等五十队自米特等二	大豆四、二一六以中合格數立米 二八五卯。百米:七三 七七三卯		大正十一年十二月分京畿道穀物檢	毫华核型局系	元文分公 公司之青		月复作 一、	<u>-</u>	打付		行	п	如하다	更可貸出金の際保別を示する左外の一十六萬二千四百四十七里のモ	八千六百四十圓、朝鮮人側十口三	金七日本人側五十口八百二十七萬	百萬九千六百七十二圓、民間貸出	間こと まつ同ち 登りをと叫って	朝鲜练行士 月末日野石貸出金合	草金重作男と	列艮 資寸犬兄	七等供言 山田七全然記得のマロマ	日總督府外株式日幾分部专所行动	き受す七一種 特殊自社小量刊引	定數重役司任死等《總督府司監督	公易賛成者のと若手分與を引の四一	9、高等印刷を行むパエ朱式を別でして多不書です。「一層や2 夕器劣質	·女仆替目很、心香华州小艺学报!	中十五川創立委員合者開催する此	から創立がリヤス困難を見ならり	4 6 印刷合社 6 當局即9 希望の次 可吟 百萬圓四分 拂込ら早創立	世呈觀測日五設備一切四貨下是要四	一割三、四分々が配當の可能量	日相當可有利亞共の日兩三年後日	19日二星新省社一川工具党初三年	私態の鑑可い適宜な注意を加替日	四日貸下料金等の就かの七事業の一	を找りるとは低い小宝の文一段投一等其強力的な異常相が一つ	*或程度의配常制限、重役認可制	29円更の總督府で初台社の對立一次のスペリよ都の成立で見るである。	1)を実したりないでした。 東京の一大学の川島の中国の中国の中国の一大学の川島の中国の一大学の一大学の一大学の一大学の一大学の一大学の一大学の一大学の一大学の一大学	若干形式を變敗すい即時事業の四	「印刷所現在投版全部の境々受験」「加分之一神ジュュ組立」の「前)	中の最初七公務實本二百萬間七	・の有力者の依かい版調豆進捗の一九	『聽収すタユ在朝鮮は朝鮮實業家 六/5・ 移管方針の豊富・計制です 5	「中半多学でデーサット羊田で展しているののの一世計量を過級總督府で出して	創立員民間 一社四事業 二星機 樹大	1、民暦等の印刷の開む部分で新して作用。それを選挙者の構造が作品	変用のと各項数斗件、急呼付官 二	一般なりで中で熟練紙上さり本でした。	印刷局の諒解を得も結果目下現大	作公式交涉者附合并大量并用一个二三移部分是决定的正衡局之既一二	不拘可互來四月至早刊日本印刷一二	銀好甲印刷を新倉吐甲成立奥台	日依計日 右七全然或傳之立 從 男	「関係なり指説で行びの確則で 二	智叫對外生化量 网络马波汀灌坞 一一路餐房印刷所外民間 网络餐房	新食剂認立 **	日本のと日曜	草金多日 加月里	列根条印刷开 第一日	行人通行二十二年出史前行司 形	市上版。1971年日比全庫厅智 · 队
大正元年朝鮮總督府告示第十六號 一府告示一件改正	八一月十八日附割分の三州陸止むの	一晚山方上木山業の監察の關心件よっ大正三年朝鮮總督府訓令第六十二	府訓令一件廢止	本令之發布四日早日此多施行替	附則	"其他在夕帝与美 像局房房在共子路 "	「第百四十五條中 「陽珠都督を管と	毎一通り金四銭の子官	で報の野便受信報欠ぎの間での	但在芝罘帝國電信官署の着司を	少百二十條♥ た町但書を加む	き納むの可む	9.在かり七其配達料呈金十一錢	電報日書留郵便配達を要する者	現土丁四俊の古『信官署の着から	おいと金四銭を増納むの可む	追報の郵便報告是要の七者の在	担任芝罘帝図記信官者の着かそ	第七十三條第一項 5 左甲但背景加	音除む外口音削計	11日の日本と著言局所を指定を持事送を「報い書言の「信信房で促	一在地(開東都督府管內音除計)の	邓大十三條中『在外本邦郵便局所	左外如可改正がゆい引	報規則中一月一日附府令으로供	電報規則中改正	他豆六四、几八五队。引叶叶	門司、鹿兒島、長崎、博多、尾之還其	豆・大阪、下闕、釜山、仁川、東京、	浦其他ユー-五、一一五叺の斗大 プラーテー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー	大車「売り、東京、工亰童、平襄、 天一他を四九 五〇三 白米モ大阪黄島	米七大阪下崩、高知、釜山、仁川、其	一、三八六叭ョロ叉此輸入地七支	米二、〇四一以、白米一〇以、大豆豆一九、三七五卯。『モイカリ』で不合格を立	2. L. 三七二人。三下今路上之外,四等立米八三一、五八一以 大	外)自米七三三〇、大豆 四、五九	一以、三等玄米五、三二七八(等)	日米二三、以四一〇、大豆一、〇五、大豆七三以一二等立米六、八匹五	木三、四六叺、白米一六八、〇七六	四、〇〇、叭、大豆二叭、一等立	い合格數立米持等二九三队、白米 オーーチリーナテアレビアチリー	1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、	李四五八二队,四等六四四五队、 10 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 1	50、三七人、二季运三九人、三二一一、九七一以中合格一等三二	5、四等二、一八五呎,高浪浦大	一队、二等八队、三等二五、八二四三	以以五一7、七一0人中含各寺等15元以、四等二、0八五以、 強川總	一、以中合格 等八八呎、三等八二	八二呎,西水庫總數大豆三、四一版2 1941 1971 1981 1971 1981 1981 1981 1981	7、三季当7三一九人、四季一7大元),大豆一等三队,二等一九三八十	公豆一七七以中合格數立米一等三次	1、〇四三呎、沒山總數玄米三呎、 終	等二六呎、三等五八一呎、四等	三以,四等三一、二八以、大豆三以,二等七〇〇以,二等也	(豆二、大四四叭巾合格立米一等)	澤 玄米 粉數三七,八三九以 文	二、二型二队、叫等一七三队、七、队 大豆一等八队,二等十二队。	九五九二等七七以、四等一四萬	等一七七队、一等七四四、队二等十十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	1975年,1975年,1988年,1987年,1987年,1987年,1987年,1987年,1987年,1987年,1987年,1987年,1987年,1987年,1987年,1987年,1987年	九五以「二等四、八三五以、四年数	修五六以 大豆一等二元以"二等"周七一二以"四等"一六二以"四等"一六二以"四等"	七四日山、二等二、八六三队、三	合格數立米特等一一一切、一等	米五、八六九队大豆五、三〇八以、二男・カリッとは3カヨ・アフラリを	以、水原が飲立木石、八六九以 酸二等 4 デリ 三等 (巻を) 三〇世	、 二番上六人、三番、等外)二〇ツ
- 一場から変施をグリッジャー 大田維む學生 - 人のみとい 就學は一人のみとい 対象は	ひそ小▲ユゼツルの父の小石父のむ利得を求立みなみ一様と父父又	依が中引下対なりかせのスキ無理の教館の展開で予教館が明落官を	何川投京ながのはいいのは、	はお引下する人の安衛を人の日本	· 合学引三二甲熱南美利用でや及	前路至中以教育の失利の開拓之口	工維持可以學校工多數也五一條四	七學校三のハサモユ月謝金サの斗	化二月謝金コ收入さ外不正維持部	の中上過言のかのけ▲ユロか甲現	學熟の職盛する一時が用むダラル	そ物質職費を因むスエリスのそん	初日月謝金を引上の中幾倍か引以	可一言を申復を及る他かかの中間	計り上 所引 きせり A 2 世 高り中風減り妥協がい完全が實行	む條件の日同情から賛成を以そ勿	▲二引用一窓み上學生々活の有益	ド目炎をを得かる。 ・ 日本をという。 ・ 日本をはる。 ・ 日本のできます。 ・ 日本のできまする。 ・ 日本のできまする。 ・ 日本のできまする。 ・ 日本のできまする。 ・ 日本のできまする。 ・ 日本のできまする。 ・ 日本のできまする。 日本のできまする。 日本のできまする。 日本のできまする。 日本のできまする。 日本のできまなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	訪問む後の다ハエ七二十七日の七	等門程度の學校長斗宿屋組合長さ	七孩委員をの京人のの七十事にと	表外命合可以現在學生可生活問題	* 4各有志閣體斗各言論機関等代	青年聯合會館內	民之。 四時中可堅志何己		☆願免本官 	即鮮總督府道賢祖	逃職音命 1	忠州支殿判事 李 愚 正常	大正十一年一月十七日	产	U城驛發列車呈渡東すり引引 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	齊藤總督昨朝渡東 一	では、日本の大学では、日本の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の	田倒不多餐戶。人間です。	荆维之中	温産銀行第九回通常株主総倉モ來 六	1.134	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	一日午後二時の開合かり豆饅更が一日	12七米二十二日午後二時三十寸第二	記報で京城商業會議所定時評議員国	商議所評議 變更	三週間野豫定。呈渡東也许可引	五來二十 日午前十時京城縣發往	有質別のとする必要なも同学	河星直及頁又变瓦	対答字が父叶の中 同様では質が工作	放き では、	○ 三 当 東京 大阪、京都 大阪、神戸 商	37迅速を期かり爲かい優で滅信 鍼信 幼児の一大勢の鑑りい圧が東西連	「東京館) 日本戦報通信社の月 大	電通專用電話架器 第	御二種著名や堀川村父兄の日	小包郵便散や引受九分一風配達	引受九分四原配達一割五分一厘一用打・割上1~~1196~	三千八百九十八個で日此半前年 大	二萬一千三百九份配建自三十二四	五千百四十八號小包郎便引受九一四四萬九千百二十號配逐二百四十二二	野使物飲と通常郵便引受二百三一	例飾内郵便局所 3 取扱で特種取得 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1	各司 明	寺重耶起勿又及攻	50太平里]+C健美生]王吹针	巴米塔瓜×質中「彼邑」・『九龍」	正好天好史日外
同世榮島 一二、四〇 一三、六〇 一三、六〇	同。唯同 一一九一、〇〇一同企明山 二二五、〇〇	同金融 三五〇、〇〇	同九郎 二七〇、〇〇	肌布三A 二八〇、〇〇	一月十七日前場	^{嫁綿} 糸布時勢	j ()	八七七〇 八七九			に 東 TOCO	お 引 引	短期取引後期	大 新 八八〇〇 八八五〇	第一四十六〇 十十十五年 ・ナニン・ナニン	双 五〇〇		-	ベハ	電話本局(1八至0)	蛛式性員人金應龍	京城株式現物取引市場	京城府長橋町大十番地	和局十後の止から引 うりょう	四十圓。豆五十錢、又寶賞的子外一門中步跳四十九圓九十錢。三丈言	で前止といって一銭供も五十四谷付	で依然が迷惑狀能是立倉が日京氣	1男子多少活家三止むり後男人取一名十二十一名 りょう	参 易衣 然 冱 態	4情々観望すそ形勢の可引の近。	「甲質万七男氣가無か・質出音楽	能説斗某有カロ買方出助説の流傳 ・	「島面を気取市場の取引所昇格可」の現立丸信十関六十銭の豆止ずの	S是五六十錢二豆結局七十錢叫止.	題元十歳三十銭を寸む・斬高の	八四四十七銭々の前進かけ小結	R許付か9歩調七圓八十銭으로其	一十銭・三安取や十九圓二十八二	5七蹬買不成す五仁新七四十一圓。一金應能で日於千材賃買す 8日 仁	「の金買方のそ北村趙頻崑中津田	手振りや質方新田方奎煥白井坂(社のより新居力十起の山での)	1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、	京収を作出斗同樣價五十圓寄付一旦本場人氣を多少活氣ミ入倉司	新二百七十五圓六十錢。三入雷	·朗大阪大街9八十七頁九十錢60 - 17 - 17 - 17 - 17 - 17 - 17 - 17 - 17	的 易 虽 更	京取前場	1二六、五〇一二七、五〇世	新 三六、九〇 三六、六〇 三六、六〇 三六、六〇 三六、六〇	新 11、八〇 11、八〇六	新二七六、四〇 二七七、二〇 5	新 二九五、九〇 二九六、二〇 一次 一次 二〇 一次	新 八九、三〇 八九、四〇 英 一〇九、七〇 一〇九、五〇 三〇九、五〇 三〇九、五〇 三〇九、五〇 三〇九、五〇 三〇九、五〇 三〇十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	がある。	一月十七日前場	大阪株式		月根 二五〇、〇〇 14四九、六〇月第二四九 プロコロア ア	終 ニタル・ド) ニリブ・ド	万段 四五、五〇 四五、〇〇 午段 四五、五〇 午	漢 二三九、二〇 二三八、七	一月十七日前基		大阪三品		图以	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				TO SEC		八九〇O ······	意 写	90 年 四五〇	10 m	(140)		省 削場 後場 前島 後原	名 今遇中 來週中	京株號買買價十七日		や三十三銭の始むの二銭の八小押!	不成の可中限の五十銭一口豆花り出傷以上	▲第五節 阪地後報三十一錢。豆	/ 反落を役	サストト三十支のりえ茶上をごとという一大二十二銭の始から八銭々れ返戻!	八小品計画	↑戊叶十 1	行の宣物の後出るの三十七銭ヤス	限を四十五銭の始かり此のと戻價	は長接が立営中兩股や不成り十五 ● 別月四省三十九銭の秤	第三節 文也の方言 しき 片	7		地域的沿	置。	イン対立地号が何度人 はつば		英格	八段四八小地可以此際日軟派四煎	十錢可始記	⇒不成り斗中限⇒二十一圓五十錢 □十三鈞ミ交復奚高臺受すュ党限	▲第二節 阪地二節三十九銭三節	四丁低可比較的低價互初付が中一一般では十三個十分の見前止備以下	第一節 當中兩限《不成》。		川神・西州	が大きなが		了	きりぞく	さ。 さ、 さ、 さ、 と、 と、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に		が立立合すり	463	E T	二銭甲高價を生す五〇世	東長타小九節十一邊は青銀叶	→ • -	「そ人気小突然沸騰引作二十三川」放り反撥引き接む當市場を軟形の「個」で	7	<u>.</u>	1	二川 新華 打 一	63	前傷七大阪二十八圓〇六銭二十一年		十六日後島	仁川期米 世	announcements.	雙女 III D'OC	1200,000	
- 255	第毛 图 1000	朝紡(衛) 全0	鲜土制 記	明 三		東拓 渚	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	- 一切 三面面	同新聞 /名		凝戲 (情 吴吾	后第一号	可见者 三恶	株 名 育場 後島 前島 後号		仁川宮可廣澤	9 廣澤正女	仁川米豆取引所仲買	あ不成の可先限や二十四段	は十一銭の又復低落き接可立當中	▲第六節 阪地九節十八篇○星上 は『川。日	四銭ロス小押む	砂態上當中國限で不成の中先限で ・ 1月に対する。 ・ 1月には ・ 1日には ・ 1日に	三丁選り又後低價量件하五三時勢	▲第五節 阪地後報二十一錢二豆	八錢二豆跳返む後七錢叫止可引	小 月 日 B B	川上九選一丁三比及4二十九幾十 低音投引五當股4不成の十中限4	即阪地六節二十八錢4稍	の一銭の大小高さの活象が	二十段の始かり場面を俄然	當中兩限を亦不成の中	这0 是反 英卦卡上引子	電路長四〇四番。二二〇一	彩田拿	近日笺	以引所仲賢人	八銭ペス小批のタイル	印附限や不成の円先限や三十銭の	即二十九銭の依然焦付を接引五當の4000年 別月後朝三十紀の5日内	义也经验证证是可以证	明三十五銭の昨止賞と中七丁低も一十一個四十年~5次第十二十三	第一節 當限也不成可斗中限也	*振が立立官が1	二十二卷 是二节二十九卷 以青银一个前場 8 入 4 4 大阪初付二十八圆 本	· 結局四十二錢の場合止すの平山 寶	义四	一十十十十二十十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	じせ競合の後半折高夏を襲出れない。 ・・・一節三十銭으로五十銭の内奔	然 硬 後	党は我	《極高量一大動機星企符中サイサーの影子企行する以来を表別の動物	19年代を寄りませる大後1後と	一対民可立反司低押形勢者作事を一	上件	・.不過廿二生買方三高價の七亦	行上紙上場系」がところりを関して着手を対す預定が知り度	爨賦す示すそ全対十五日ニーモル昨日《至お『日本名物』	時で期米界の買人気も刺戟	上說も地方産米平好感も與一切も政府ミ斗可現物三十元	方의機會待	市五二十三興十銭4米也後阪	十大键写報	(形勢相支)	一六日前場	아마	一部可以十山村山府仍四年
	同意高	東亞/筒 100	: 포	爾鐵司:		阿斯洛 合	可题 37		頻数 記 ::::: ::::::::::::::::::::::::::::	() () () () () () () () () ()	朝野 高 是	高 []	n	2 怀名 前翼 後安 前安		設部 E話 三〇十	次 部 語 会番	(设七)	並同	同	记多届(小时里叶)上闻	同品並同	同中三	毛布(廿豆)上 一	同 見毛 日	向 前	同日上毛	上網	ひょ) 皮 一枚	同同	司司城市同	同男上同	首卷(千五日)	一枚	同 見 同	同同时同	上	七内衣 上 同	同域中间	でなべれへ 生)上 同	一枚	동아부인상점	一月十五日		本期線取組高 七、大〇〇、七	翼貫総石数 十萬七百石	先限 三萬一千七百石	中 艮 五千六百石	組高	=======================================	= :	二節二十三獨三十五次二十錢	定價格	安備二十二月二十二段		二十三二十三	十七日後傷(電話)		二十三月二	11節 二十三周三十銭	二十三萬三	建 買 市三組	高便 二十三十三十五	二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	十大丁りりみ	以外指局十九錢♥ 楊士止等 Y 高	押も後亦底張与思え



→品 三 ★ 特製三種五十回

理髮機械

下品一個八十

中品二麗式ナ

習

番九九五一話電•町治阴城京•所提出

1 日東京は「〇元七〇年日)第一日東京は「町東四郎支」

京城清淮洞百二十一灌進 其他各種物具備 都商長島商店 東良 ユ 子教)

金運

条送

俊欰

京城鐵路二丁目八一香地

地方引換代金迅速衝應す